

# ロシア帝国が譲歩するとき：ロシア・教皇庁関係におけるアルメニア・カトリック問題

2024年11月16日異分野研究交流会

大阪公立大学文学研究科 哲学歴史専攻 東洋史学専修 後期博士課程3年 石本雅之

## ①研究の背景

### ●研究対象

…ロシア帝国のアルメニア人カトリック教徒政策

➡ポーランドやバルト地域などに多くのカトリック教徒を統治するロシア帝国にとって、カトリックの長である教皇庁の影響力は排除すべき対象だった。

### ●問題の所在

…ところが、19世紀末以降、アルメニア人カトリック問題に関しては、ロシア帝国は教皇庁の言い分を実質的に飲むかたちになった。1909年にロシア帝国は、国内のアルメニア・カトリック教徒を管轄する「使徒司牧者」として教皇庁の推薦するサルキス・テル＝アブラハミアンを任命した。しかしながら、先行研究でも、ロシア側が教皇庁に譲歩することを極度に嫌う姿が強調されている。

➡なぜロシア帝国はこの問題に関して教皇庁に譲歩したのかを発表者は2023年に論文として発表した。その内容の一部を拙発表で紹介する。

### ●研究目的

…内政的な部分で着目されることの多かったロシア帝国の宗教行政をグローバルな問題となった事象を考察することで、ロシア帝国やその後継国家といえるソ連・ロシア連邦の宗教行政や外交を再考するうえで新たな視座を与える

## ②史料調査

### ●ロシア国立歴史公文書館(RGIA)

…カトリックなどロシア帝国が奉じる正教会以外の宗教行政を扱っていた内務省外国宗派局の史料を今回は利用  
➡政府内部のやりとりを考察することが可能に



<https://www.euratlant.net/history/europe/1900/1900.jpg> (2024年11月12日閲覧)

## ③ロシア帝国譲歩の原因について

●アルメニア人…オスマン帝国領アナトリア東部やロシア帝国領南コーカサスに多く居住(地図の地域)。住民の多数派は独自のアルメニア教会である。ただし、イエズス会やムヒタル会などカトリック側による布教活動によりアルメニア人の一部はカトリックに改宗。

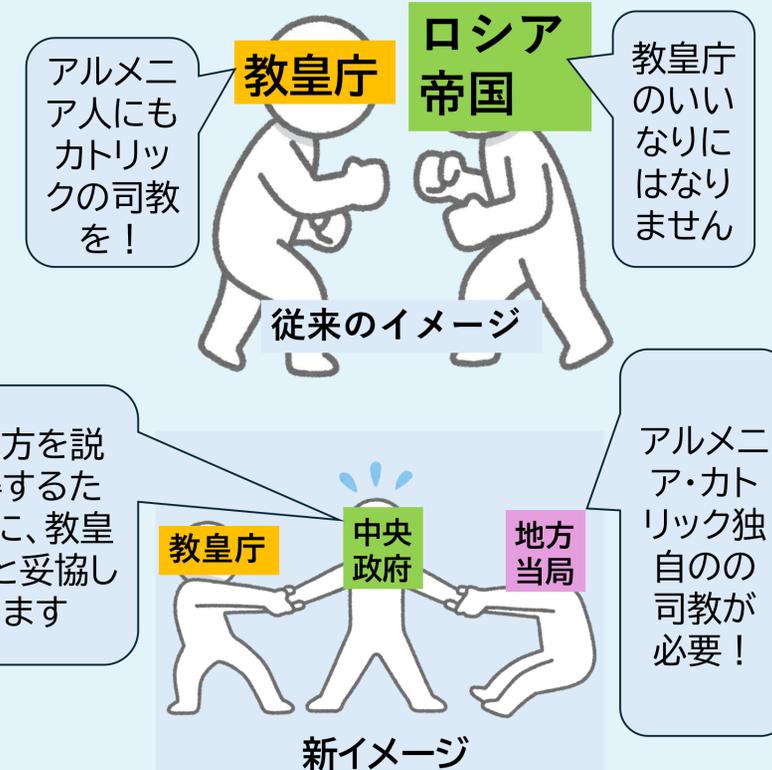
### ●原因＝中央政府とコーカサス地方当局の対立

…ロシア帝国と教皇庁は、アルメニア人にも司教座を認めるのかどうかで対立

①中央政府は、教皇庁の影響力を増大させないためにカトリックの司教を国内に増やしたくない

②コーカサス地方当局は、地方の問題(グルジア人とアルメニア人間の宗教・民族問題)に留意。アルメニア・カトリック教徒を保護するために最終的にはアルメニア・カトリックの司教任命を強硬に求める。

➡中央政府が教皇庁と妥協しなければ地方を説得できないと考えるようになった(アルメニア・カトリックの長に関する任命権を事実上譲渡)。



## ④まとめ

●1905年ロシア革命後は、帝国はカトリックの普遍性・宗教性でアルメニア・カトリック教徒がアルメニア民族主義に傾斜するのを防ごうとする。

➡ロシア政府は、教皇庁の影響力が増したとしても、同庁が推薦するテル＝アブラハミアンをアルメニア・カトリック教徒の長として承認することに

●国内事情や帝国の宗教行政が、国外のアクターに対する帝国のアプローチにどのように影響したのかほかの事例も考察していくべきだろう。

(1次史料・主要参考文献)

ロシア国立歴史文書館 (RGIA) . F. 821. Op. 138. D. 85

Амбарцумов И. В. Армяно-католический вопрос в Российской империи в начале XX в // Христианское чтение. № 4. 2012. С. 84–104

Толомео Р. Русско-Ватиканские отношения и армяно-католики Кавказа (перевод С. Г. Яковенко) // Россия и Ватикан в конце XIX–первой трети XX века / под ред. Е. С. Токарева и А. В. Юдина. Москва: Алетейя, 2003. С. 115–147.

Jakub Osiecki, "The Catholics of the Armenian Rite in Armenia and Georgia (1828–1909)," *Internationale kirchliche Zeitschrift: neue Folge der Revue internationale de théologie* 106: 4 (2016), pp. 295–319

石本雅之「ロシア帝国の対アルメニア・カトリック政策の形成過程：コーカサス総督府/民政府とアルメニア教会の役割に着目して(一八七八—一九〇九)」『ロシア史研究』、111号、2023年、3–29頁。